

18トリソミーの子どもをもつ 母親の体験

宮城県立こども病院

東海大学大学院健康科学研究科看護学専攻小児・家族看護学

東海大学大学院健康科学研究科看護学専攻小児看護学

東海大学大学院健康科学研究科看護学専攻遺伝看護学

葛西香織

井上玲子

杉村篤士

森屋宏美

発表内容の紹介

18トリソミーの子どもをもつ家族の中で母親が、妊娠中から今に至るまでにどのような体験をしてきたのかを明らかにするために、18トリソミーの子どもの母親を対象に、Giolgeの現象学的アプローチを参考にしたインタビュー調査を実施しました。

メッセージ

深刻な予後がある18トリソミーの子どもをもつ家族と関わる際、倫理的な葛藤を抱きやすい場面がみられ、ご家族との対話の重要性を感じています。皆さまはどのような工夫や取り組みをされていますか？